

平成3年 (第9期)

全国曹洞宗青年会

東京ドームソフトボール大会実施



発行所
全国曹洞宗青年会
 〒105 東京都港区2-5-2
 曹洞宗宗務庁内
 発行責任者 木南 広峰
 TEL 03-3454-5411(代)
 振込 東京9 701868



去る十一月七日、東京ドームに於いて全国曹洞宗青年会第9期ソフトボール大会が開催された。参加者は前の晩から上京した人達、朝から車で駆けつけた人、九州から夜行列車で到着した人と様々である。入口で受付を済ますと真っ直ぐ控室へ。この日のためにお揃いのトレーナーを新調したチーム、昨年の第一回大会の時に作ったチーム、作務衣姿と個性豊かな衣装に身を包みグラウンドに集合。対戦相手のくし引きを終えると開会式。木南全曹青会長の挨拶に続き、選手宣誓、仏旗掲揚と続き開会式を終了。A、B二つのグラウンドに分かれいよいよ試合開始だ。

装束もチームごとにユニークならば試合に臨む対応もそれぞれの団体で色々である。この晴の舞台で我が団体の強さを全国に知らしめるのだとガンガン責めまくる所があるかと思えば、「一度東京ドームの土(芝?)踏んでみたかったのよねえ」と勝ち負けにとらわれずに楽しんでいた。



装束もチームごとにユニークならば試合に臨む対応もそれぞれの団体で色々である。この晴の舞台で我が団体の強さを全国に知らしめるのだとガンガン責めまくる所があるかと思えば、「一度東京ドームの土(芝?)踏んでみたかったのよねえ」と勝ち負けにとらわれずに楽しんでいた。

全国僧侶のエネルギーを結集しよう
 社会的価値ある活動をしよう
 青年僧侶の自覚を促そう
 地域における活動の連携を深めよう

全国ソフトボール大会結果一覧

順位	チーム名	県名	勝敗	得失点差
1位	曹青 Laions	岩手県	2勝	18点
1位	照心会	北海道	2勝	18点
3位	曹岐青	岐阜県	2勝	17点
4位	佐賀曹青	佐賀県	2勝	11点
5位	静岡第三同志会	静岡県	2勝	6点
6位	志太同志会	静岡県	1勝1敗	9点
6位	菊水会	北海道	1勝1敗	9点
	Somosans	茨城県	1勝1敗	1点
	サンガース	静岡県	1勝1敗	1点
	SOTO 三重	三重県	1勝1敗	0点
	曹福青	福島県	1勝1敗	-3点
	郡曹青アルバトロス	群馬県	1勝1敗	-6点
	宮曹青 B	宮城県	1勝1敗	-7点
	静岡第1東部教区連青	静岡県	1勝1敗	-8点
	九州地区曹青	長崎県	2敗	-10点
	愛知第1曹青	愛知県	2敗	-13点
	西湘	神奈川県	2敗	-13点
	愛知第3青年会	愛知県	2敗	-13点
	宮曹青 A	宮城県	2敗	-16点

Aグラウンドチーム対戦表

第1試合 (10:15~10:45) 対戦チーム L 愛知一曹青 4 R 静岡三同志会 6 審判 宮城 B	第2試合 (10:50~11:20) 対戦チーム L 菊水会(北2) 1 R 曹福青(福島) 2 審判 静岡同志会	第3試合 (11:25~11:55) 対戦チーム L 西湘(神奈川) 3 R 佐賀曹青 12 審判 志太同志会(静)	第4試合 (12:00~12:30) 対戦チーム L サンガース(静4) 3 R SOTO 三重 6 審判 菊水会(北)	第5試合 (12:35~13:05) 対戦チーム L 志太同志会(静) 12 R 愛知一曹青 1 審判 福島	第6試合 (13:10~13:40) 対戦チーム L 宮城 B 5 R 菊水会(北) 15 審判 愛知一曹青	第7試合 (13:45~14:15) 対戦チーム L 静岡三同志会 8 R 西湘(神) 4 審判 三重	第8試合 (14:20~14:50) 対戦チーム L 曹福青(福島) 2 R サンガース(静4) 6 審判 佐賀	第9試合 (14:55~15:25) 対戦チーム L 佐賀 5 R 志太同志会(静) 3 審判 西湘(神)	第10試合 (15:30~16:00) 対戦チーム L SOTO 三重 3 R 宮城 B 6 審判 サンガース(静)
--	--	---	---	---	---	--	---	--	---

Bグラウンドチーム対戦表

第1試合 (10:15~10:45) 対戦チーム L 愛知県第三青年会 0 R 郡曹青アルバトロス 4 審判 曹青Laions(岩手)	第2試合 (10:50~11:20) 対戦チーム L 照心会(北第二) 12 R 静岡第一東部青 1 審判 Somosans(茨城)	第3試合 (11:25~11:55) 対戦チーム L 曹岐青 9 R 宮城青(A) 2 審判 郡曹青アルバトロス	第4試合 (12:00~12:30) 対戦チーム L Somosans(茨) 4 R 九州地区曹青 0 審判 静岡第一宗東部	第5試合 (12:35~13:05) 対戦チーム L 曹青Laions(岩) 9 R 愛知第三宗青年会 0 審判 曹岐青	第6試合 (13:10~13:40) 対戦チーム L 九州地区曹青 2 R 照心会(北第二) 9 審判 宮曹青	第7試合 (13:45~14:15) 対戦チーム L 郡曹青アルバトロス 1 R 曹岐青 11 審判 愛知県第三宗青年会	第8試合 (14:20~14:50) 対戦チーム L 静岡第一東部青 6 R Somosans(茨) 3 審判 照心会	第9試合 (14:55~15:25) 対戦チーム L 宮曹青(A) 3 R 曹青 Laions 12 審判 九州地区曹青
--	---	---	---	---	--	---	--	---

目次

東京ドームソフトボール大会 (1)

九州曹青大分大会 (2)

東海曹三重大会東北曹青岩手大会 (3)

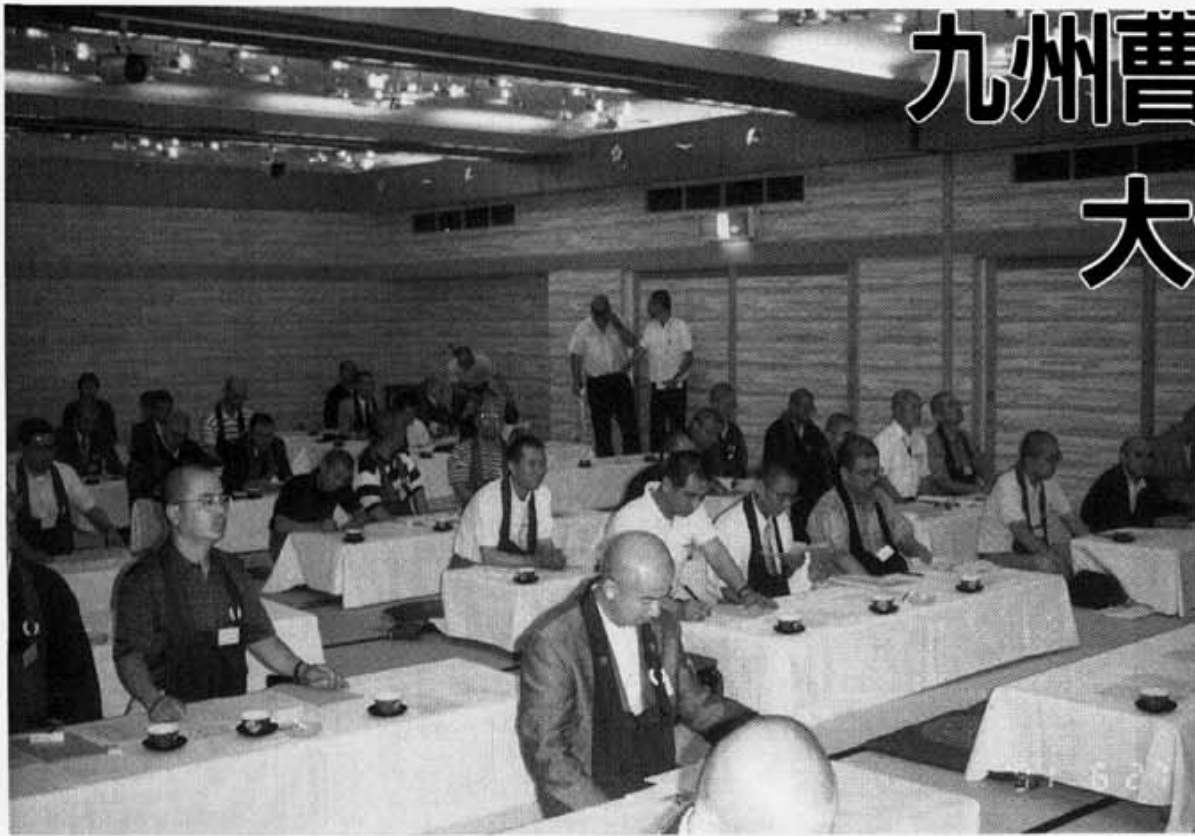
長崎義捐金報告曹岐青十五周年大会 (4)

破草鞋

今、ワイドショーその他、世間を賑わす話題と言えは新宗教の問題である。具体的に言えば、幸福の科学対講談社の告訴合戦は信仰市民運動、法律論などを含め議論百出の(議論と呼ぶに値しない物まで含めて)の観がある。確かに現在のマスコミのあり方は様々な問題が多い。行き過ぎた取材活動、事実誤認に基づく誤った報道、それらに対する謝罪記事の扱い、いわゆる報道被害の問題に関しては、我々は一社会人として重大な関心をもって見なければならぬ。しかし、僧侶として今、考えるべきことは新宗教の問題ではなからうか？戦後の新興宗教の隆盛は第一に生活苦、貧困と言語現実に対応する形と分析されている。又、信者の多くが主婦層であったことも特徴である。これに対して今回のブームは生活苦よりも精神の飢餓状態、信者は青年層が多い。これらに関して社会科学的にはそれなりに分析可能であろう。しかしながら我々は宗教家の立場を以て別の視座から見つめ直す必要がある。何故、若者達は我々が教化をしている伝統仏教を離れ新宗教に走るのか？何が彼らを魅きつけているのか？伝統と慣習の中で我々は甘えていないか？

鎌倉時代に鎮護国家の美名の下で墮落した伝統仏教を糾弾し、大衆の為の教えを説いたのは我々の先達である。「金持ちを喰わせず」「危うきに近寄らず」では先が思いやられる。この現実に対して、青年僧侶の鋭利な分析と熱い議論が今こそ必要なのではないだろうか？

九州曹洞宗青年会 大分大会開催



去る平成三年六月二十七日、大分県別府市に於いて、九州曹洞宗青年会大分大会が開催された。

会場となった観海荘に九州各県より百名近くの青年宗侶が参集した。午後二時開式の辞に引き続き本尊上供が行われた。最初に開催県である天雨清成大分曹青会長より歓迎の言葉が述べられ、続いて中本九州曹青会長、来賓として大分県宗務所長、全曹青会長より挨拶や祝辞が贈られた。

続いて九州曹青会第二十一回総会が開催された。議長には永石一光熊本会長が選出され議案審議に移った。今回は任期満了に基づく役員改選の年にあたり中本会長より理事会に於ける新役員選出に関する経緯が報告された後に新会長として

熊本県村上和光君が推薦された。会場満場の拍手により承認をうけた新会長は就任挨拶及び所信表明において以下のように語った。

(内容抜粋)

基本的には九州一つ、県境は無いと考えた上で各県各々が持っている特徴を生かす形で、例えば法式研修なら〇〇県、出版事業なら〇〇県、運針なら〇〇県、夜の懇親の仕切なら〇〇県(?)という具合にそれぞれの得意分野を伸ばすと共に、情報を積極的に交換する事によって九州全体としての完成度を高め、又各県の刺激をしたい。

我々青年宗侶は未熟であり洗練もされていない。しかし、桶の中に水を張り辛在中に入れてかきまぜていると、その辛どうしが互いに擦り合わされているうちに、泥が落ちて綺麗になっていくように、お互いのパワーを結集して切磋琢磨、努力してお互いを高めて行きたいと考え、小さな失敗を恐れる事無く、それを榮養にして更なる飛躍と発展を望んで行きたい。九州曹青としてはその為に積極



九州曹青新旧会長 (左=中本光勇会長、右=村上和光新会長)

的、能動的に働きかけ、問いかけていく所存である。みんな力を合わせて頑張っていきたい。

所信表明に続いて新役員の発表が行われ平成三年度の事業、予算の審議に移った。

議事も速やかに進行し来年の大会を福岡県で開催する事を確認して総会を終了した。総会中に回された「雲仙噴火災害見舞い」の募金箱にはその場で十萬を越える金額が集まり長崎会長に手渡された。

五分の休憩を挟み記念講演会が同じ会場で開催された。

東北福祉大副学長、萩野浩基先生を講師に迎え、「現代における布教の原点」と題して講演を頂いた。先生は英語を交えながらのエネルギッシュな語り口で、青年宗侶に対して、社会の動向を把握した上での宗教者としての視座の確立が重要であることを説かれた。

現代社会の特徴としての「イデオロギ―喪失の時代」を中心にして湾岸戦争と宗教問題との関連、更に世界の他の宗教



熱っぽく講演される萩野浩基先生

と仏教との社会的比較「FROM THE WORLD TO THE EARTH」グロウアルな眼で社会を捉えていく事が現代の仏教者に必要であることを一時間半に渡り講演頂いた、各自入浴も済ませ旅の垢も落とした所で懇親会が始まった。始まると同時に徳利を持ち旧交を暖めて回る人、我関せずと目前に空の皿を積み重ねる人、見慣れた宴席に温泉の街ならではの華やかな余興が加わり別府の夜は賑やかに更けていった。

会員数の減少、会員に兼職者が多い大分県での大会開催に若干の危惧を訴えていた人もいたが蓋を開けば、受付から見送りまで肌理細やかに配慮され見事な大会実行であった。会長をはじめ地元会員苦勞の賜物であろう。翌朝感謝と満足をお土産に別府を後にした。

追記、この時集まった義損金は長崎曹青会長より七月一日長崎新聞社に届けられた。

宿泊・婚礼・法事のご利用に…。

交通

- 地下鉄 都営三田線、芝公園駅より徒歩2分
- 地下鉄 都営浅草線、大門駅より徒歩7分
- 羽田空港より車で25分
- JR浜松町駅より車で3分
- 都バス芝園橋、金杉橋より徒歩3分



Tokyo Grand Hotel

東京グランドホテル

〒105 東京都港区芝2-5-3 ☎ 03(3454)0311(代)
FAX ☎ 03(3454)1022

第15回東海曹青大会三重大会

松坂にて開催さる

去る十月三十日に、三重県松坂市民文化会館にて、東海曹洞宗青年会（小島泰道会長）主催の三重大会が、盛大に開催された。

この大会は、毎回「大衆教化の接点を求めて」をメインテーマに、東海曹青（愛知・二・三、岐阜、静岡三・四、三重）の青年会が隔年で順番に開催し、今回は三重曹青が中心となった。

「達磨忌」を題として、一般の人びとに少しでも達磨さまを知っていただき、その教えである坐禅を伝えるために行われた。当日は、朝から小雨が降り、聴衆の出席が心配されたが、

足が心配されたが、開館時間が近づくと雨も上がり、開演時には場内もほぼ満員になり、熱気あふれんばかりであった。

午後一時に木版が場内に響き、司会の声とともにいよいよ開演。

大雷の響きが場内にあふれ、導師入場六十名の青年僧により、恭しく達磨忌大法要が営まれ、献茶湯、行道と、その荘厳さは、場内の人びとに感動を与えていた。

引き続き、坐禅指導が行われ、ステージでは、達磨さまを中心に七十名の僧侶が坐り、場内の人たちも椅子坐禅の指導を受け、約十分間の短い時間ではあったが、皆真剣に、坐禅を行っていた。

続いてのアトラクションは、先ず最初に、三重志摩地方の「荒浪太鼓」が、荒々しく力強く太鼓の妙技を披露。がらりと雰囲気が変わり、「秋の唄」「日本のわらべ唄」の琴の演奏に移る。太鼓の「動」、琴の「静」をうまく取り入れた演奏であった。

最後に水六輔氏作詞の「遠くへ行きたい」を演奏して、永氏を迎え、特別講演が行われた。

永 六輔氏講演

まず、「敬老の日」はどうして九月十五日なのか、自治省に問い合わせると、仏教に関わるため、公の立場で言えないとのこと」という話で講演が始まった。

まず隅田小学校では、給食をいただくときに「いただきます」「ごちそうさま」と言われ、笛や太鼓の合図によって食べはじめ、そして終わる。

昔は「箸とらば、雨土みよの恩恵み、父と母との恩を味わえ」と言っていたが、「いただきます」「ごちそうさま」は仏教ではないはずだ。

JKSI東京の教育委員会では、学校でこれを指導してはいけないとのこと。生徒が言うのはよいそうです。先生が手を合わせ「いただきます」と指導するといけないのです。

手を合わせて祈ることは、この食事に携わった人びとに感謝の気持ちでてを合やすので、特定の宗教ではないのです。では、宗教とは何でしょう。

人間は必ず死にます。100%死にます。では、死ぬ時に何に頼りますか。諸外国では、60%が宗教に頼ります。日本人は何に頼りますか。60%が財産と答えました。宗教と答えた人は、わずか3.5%しかいないのです。

つまり子どもの頃から何かに感謝すること、何かにすがることが忘れられている。信じる側も、信じさせる側も怠慢になっている。死ぬ最後には、何かにすがるか、すがられるのが大切なのです。

年取ってからでは遅すぎる。つまり、小さい時から手を合わせる事が大切なのです。

宗教の「宗」という字は、家で示すと書きます。それが宗教なのです。家の中ではご先祖さまがいて、今私たちがいる。お父さん、お母さんがいて、あなたがいるということとをきちんと、そして、ここにあるものはただあるのではない。いろんな人の苦勞が関わっているから、手を合わせ感謝する、その料理の立場になる。つまり相手の立場になることが大切なのです。これらは学校では教えてくれません。親から子へ、家庭から教わることなのです。笑いを豊かに講演してくださいました。

東北曹洞宗青年会

岩手大会開催

メインテーマ「たましいとの出合、サブテーマ「耕そう智と力と心」のもと、曹洞宗青年会東北地方集會は平成三年十一月二・三日の両日、岩手県盛岡市に百名近い青年宗侶が参集し、岩手県曹洞宗青年会結成十五周年記念大会と併せ盛大に開催された。

で仏祖諷経が行われた。引き続き菅原会長の挨拶、本大会実行委員長の佐藤一成岩手曹青会長による歓迎の言葉、来賓諸老師の祝辞があった。

続いて今大会の決議文が、東北連絡協議会長から読み上げられ、満場の拍手で採択された。

次期開催県の発表が志水賢宏東北連絡協議会事務局長（宮城）からあり、毎回引き継がれている絡子が、今大会実行委員長より菅原会長の手を経て、次期開催の宮城曹青早坂文明会長に伝達された。

実践布教発表会

一人二十分間

式典終了後ただちに、東北地方集會では初めての実践布教発表会が行われた。各単位曹青から一名の発表者が出て、二十分づつ七人の発表があった。

発表者名・題は次の通り。藤村宏輝君（岩手）「すべての御命の大切さ」、三浦健幸君（秋田）「お釈迦さまが本当に伝えたいこと」、鈴木祐孝君（山形）「支部活動を通じての報告」、中村純一君（青森）「禅のつどいに参加して」、岡本大英君（福島）「本堂は教化のステーション」、佐藤正明君（宮城）「青少年教化について」、正野光周君（庄内）「本堂改修工事を了って」、壇信徒と歩む寺院」。

聴衆者は来賓及び東北の会員諸兄で、午後二時過ぎに始まり、十分間の休憩をはさんで五時まで行われた。発表者には実行委員長より記念品が贈られ、盛会のうちに終了した。

記念公演会講師に 三遊亭楽太郎師匠

三日、会場を岩手県公会堂に移し、落語家の三遊亭楽太郎師匠を講師に迎えて、記念公演が行われた。これには曹青会員はじめ、一般の方々も多数参集した。

午前十時、記念イベント「坐禅と光と音と舞踏」が、青年宗侶三人による舞台上での坐禅で開幕。その後で聖和学園女子高校生によるインド舞踏と祇陀寺合唱部による歌が繰り広げられ、坐禅における心の動きとして表現された。

続いて、高橋哲秋大会総務部長（岩手）の挨拶と講師の紹介があり、三遊亭楽太郎師匠が洋服姿で登場、「天上天下唯我独尊」の縁台で一時間半にわたり講演し、聴衆を魅了。正午に閉幕した。

「東北は一つ」という合言葉のもと、東北各地からの参加者は、来年宮城での再会を期して散会した。

岩手曹青

シンボルマーク制定

岩手曹洞宗青年会では、このほどシンボルマークを制定いたしました。

本会は平成三年十一月二日、三日に盛岡に於いて東北曹青の岩手大会と、岩曹青結成十五周年大会を開催する予定で、これらを記念し、昨年十月、作品を会員より募集していただきました。応募数が少なかつたため選定会で話し合い、現執行部が作製いたしました。

作品は「曹青は一つ」の認識のもとに、全曹青シンボルマーク一図案化された深紅の八正道によって燃え上がるエネルギーを現し、それを青色の法界定印でしっかり包み込んで未来（上部）に向かって無限を指向するの中心に岩曹青の「岩」を白抜きで入れました。

このシンボルマークは、岩曹青会章として今後あらゆる機会に使用する予定です。

岩手曹洞宗青年会 会長 佐藤 一成



岩手県曹洞宗青年会

心にやすらぎを……

四字禅語

『四字禅語』全国曹洞宗青年会著 B6判 定価1300円(税込)

曹洞宗のしきたりと心得

天龍寺

『曹洞宗のしきたりと心得』全国曹洞宗青年会監修 B6判 定価1100円(税込)

曹洞宗

カセットブック・曹洞宗

全国曹洞宗青年会著 新書判 定価1500円(税込)

〒162 東京都新宿区弁天町43 電話 03-3267-6821 事業企画室（直通）
FAX 03-3235-6672 電話 03-3267-6824
(株)池田書店 振替東京 2-60072 FAX 03-3235-6672

平成三年十一月二十七日
義捐金送付者各位殿

雲仙・普賢岳噴火災害義捐金の御礼

長崎県曹洞宗青年会
会長 福田 光昭

謹啓 晩秋の候、尊師におかれましては益々御健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

去る十一月二十日長崎県曹青会役員、全曹青理事の天雨師並びに地元曹青会員に同伴をお願いし、皆様からお預かりいたしました義捐金を島原市役所、深江町役場へ届けて参りました。

今般の募金活動に対して、各方面より御協力を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げますと共に、火山活動の長期化



を踏まえて引き続き募金活動を継続致しますので、今後も御支援御協力の程よろしくお願い申し上げます。

記

- 一 義捐金総額二五件 金一、五五、七六円
平成三年十一月十七日現在
- 二 義捐金内訳
 - 島原市災害対策本部 金七、八八円
 - 深江町災害対策本部 金七、八八円
 - 長崎新聞社見舞金受付 金六、〇〇円



曹岐青15周年記念大会開催さる

曹岐青会長 小島尚寛

私たち青年会は、新たに曹洞宗岐阜青年会という名のもとに昨年で十五周年を迎えました。しかし昨年は、宗門挙げての修証議公布百周年記念事業、また岐阜県下挙げての総燈戒等、度重なる大事業の関係上、本年度に曹洞宗岐阜県青年会十五周年記念大会を開催することとなりました。

また曹岐青発足以来、基本テーマ「大衆教化の接点を求めて」に基づき、特にここ数年第七期執行部(会長 小島泰道師)「日本のこころ」、今回第八期執行部は「おもいやりのこころ」をメインテーマに、昨今、モノからココロへ、物質文明から精神文明へと大きな転換を指す方向へと動きつつある中で、ひとりの人間として、また子を持つ親として近所で、職場で、家庭の中で、忘れがちになっている「おもいやりの心」を一考すべく、「禅を聞く会」なる講演会等を開催し、曹岐青十五周年記念大会といたしました。

去る十一月二十日をもって、すべて無事円成することができました。その成果に対し、各ブロック会員一同満足しております。これも日頃青年会に対し、物心両面にわたり深いご支援、ご協力をいただいた県内諸老師のお蔭と青年会一同常々感謝しております。

この十五周年記念事業を終え、感慨深く思いますのは、手前味噌のようではありますが、我が青年会は、実にまとまりがよくかつ活発な活動をしていることです。というのも、発足以来、執行部の運営は、県下六ブロックに分け、二年を任期とし、それぞれ持ち回りで、また数

年前より、年間誌「勝友」発行の編集部、「日課勤行聖典」「歎仏」等の出版部と常時六ブロック中、三ブロックが活動している為、常に青年会が一人一人、曹岐青活動に参加しているという自覚があるからだろうと思います。

また今回、会長という大役をそれなりに全うできたのは、事務局長(丹治真一兄 可児市 弘福寺住)、一円でも合わない時は夜中まで計算し直すという会計(伊藤弘隆兄 掛斐郡 栄光院住・多治見市 福寿寺副)、その他すばらしいスタッフに恵まれていたこと、役員一同一丸となって進めてこられたことと自負しております。

末筆ながら、各青年会の益々の発展と、会員皆様の法体堅固、弁道増進を祈念致しますと共に、今後とも岐阜県青年会に対し、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

曹洞宗岐阜県青年会

改訂版 日課勤行聖典

三〇、〇〇〇円(送料込)

- 大きくてそのまま回向双紙になること
- 施食等々新しく改訂されてあること
- 見やすく二色刷りにて明記
- 導師、侍者の進退が記入してあること

歎佛会法式本

二、五〇〇円(送料込)

大般若理趣分

四〇、〇〇〇円(送料込)

- 誰にでもすぐ読める書き下し文
- 手織り本金襴表入り
- 極上手すき和紙(三枚合わせ)
- 本金箔手押し



〒571 吉成郡御田町船津二九四番地内
曹洞宗岐阜県青年会出版部
TEL 〇五七八一-10303
郵 付 岐 阜 県 西 三 郡 船 津 町 船 津 二 九 四 番 地 内

曹洞の心

'92 禅僧の筆痕カレンダー

企画編集 三重県曹洞宗青年会

表紙 曹洞宗管長 梅田信隆 禅師



定価2,100円(消費税別)

○筆痕は和紙に印刷されていますから、取りはずして、本表装し、掛軸として再度楽しめます。

○カタログをご請求下さい。

〒604 京都市中京区西洞院四条上ル
シテイファーストビル
☎(075)241-4359

(株)日芸企画